



KOUHOKU INFO

こうほく INFO は、グループ姉妹園の様子や学園の取り組みなどを紹介する学園だよりです。毎奇数月に発行しております。ぜひご覧ください。

こうほく INFO Vol. 2

2020年9月発行

主体的にあそぶ！

コーナーあそび

幼児期は人間形成の基礎が培われる重要な時期で、この時期の教育が子どもの将来を左右する重要な要素であることは、世界各国で話題になっており、力を入れる国も多くあります。従来の日本の教育や保育は、先生主導型がメインでした。先生が用意したおもちゃで遊び、または遊びたいものを用意されるのを待つなど、子どもたちが受け身でした。近年、子どもたちの主体的な学びやあそびが重視されるようになり、先生主導から子どもたちが主体的に遊ぶ環境づくりをする園が増えています。その代表となるのが「コーナーあそび」です。

絵本・製作・ままごと・つききゲームなど、多くのものから子どもたちが主体的にあそびを選ぶように環境を設定します。

一般的には、コーナーあそびには下記3点が重要とされています。

- ①いつでも自由に使える
- ②選びやすく整理されている
- ③夢中になれるような空間づくり

幌北学園では園内に各あそびのコーナーを設けていますが、海外園の保育環境を参考に、上記に加えて「**子どもたちがあそびを発展させられること**」を大切にしています。子どもたちが自分であそびを選ぶだけでなく、ままごとからジオラマへなど、別のコーナーあそびへと繋げたり、気になったことを調べる、やってみるなど、子どもたちの「したい!」「やってみたい!」「どうしたら?」「なぜ?」など興味や気づきを大切に

自由な発想に応じてどんどん展開できるような環境づくりを行っています。

自分で考えてやり抜く経験や、思い通りにいかなかったことや失敗を次に繋げられるように、同じ目線で見守りながら個々の力を伸ばしていきます。

海外の保育を体験するために、オーストラリアの姉妹園や提携しているニュージーランドの保育園への研修を行っています。一人ひとりの成長や興味を把握して発達を促すあそびの環境づくりなど、体験を通して学んでいます。今年は新型コロナウイルスの影響で海外研修や海外からの研修生の受け入れもかないませんでしたが、感染状況がおちつき、研修ができるようになりましたら、海外園の新しい情報もお伝えしていきたいと思っております。ぜひお楽しみに!



自然のものを取り入れて五感を刺激!

人気&おススメ

おもちゃ

全園で取り入れている知育玩具「ラーニングマテリアル」

ヨーロッパで親しまれている良質な木製のおもちゃです。発想力や想像力、協調性や言葉の発達など、遊びながら自然に学んでいけるようガイド開発されています。子どもたち独自のルールを作ったり、友だちと新しい遊び方を発見したり。シンプルだからこその年齢や人数、アイデアや工夫などさまざまな要素によってあそびの幅が広がっていきます。

ドキドキ円柱 「サイコロ積み木」

色の認識 数の感覚
手指の感覚
友だちと協力 など

サイコロの目がついた円柱型の積み木をサイコロの出た目の順に積むゲーム

いっしょにボルト遊び

言葉で伝えあって理解
色や形の名称
友だちと協力 など

ペアになってボードを挟んで座り、さまざまな形や色のボルトとナットをつなげて作品を作ります

「何匹とれるかな?」 さかなとりゲーム

言葉で伝えあって理解
手先の感覚
友だちと協力 など

布の端をそれぞれ持ち、布を動かして中央の穴に魚を集めます。声を掛け合い方法を伝え合いながら遊びます

編集後記 こうほく INFO Vol. 2はいかがでしたか?今年度のこうほく INFO では、学園の取り組みのほか、海外姉妹園や海外の保育の情報などについてご紹介していきますので、ぜひご覧ください。次回は11月発行予定です。お楽しみに!